



# 永福学園通信

令和5年6月30日

第3号

東京都立永福学園  
校長 緒方 直彦

## SOSの出し方について

長い梅雨が続いておりますが、真夏のような暑い日もあり、夏が近付いているのをひしひしと感じております。御家族の皆様はいかがお過ごしでしょうか。

自分の思っていることや感じていることを、周りの人に伝えるということは、本校のどちらの部門の児童、生徒にとっても必要な能力です。肢体不自由教育部門の児童、生徒たちは、自分の思いを伝えるために補助具を使ったり、様々な工夫をしたりしながら表現しています。それをしっかりと受け止めることが、周りにいる大人たちには必要なスキルにもなります。

就業技術科の生徒たちについても、自分の感じていることや考えていることを周りの人に伝えることが苦手な生徒がとてまたたくさんいます。そのためにずっと自分で悩みをため込んでしまったり、集団に入れなかったりすることもたびたび出てきます。

生徒たちの周りには関わる人たちがたくさんいます。私たちはその人たちの中から、話しやすい人や信頼できる人を見つけて相談などをしていきます。しかし、周りの人たちと上手にコミュニケーションをとれない生徒も少なからずいます。

就業技術科では昨年から学校カウンセラーにおいでいただき、全員の生徒が面談を行う取り組みを行っています。2年目の今年になり、カウンセラーの先生に聞いてみると、「みんないろいろなことを話したがるようになってきた。」というお話を聞くことができました。カウンセラーの面談で、自分のことを話せる生徒が増えてきているようです。

生徒たちは、私たち大人がしっかりと聞く場面を作ってあげれば話せることも増えてきます。SOSの出し方の教育は、彼らが話をできる大人を増やしていくことでもあるようです。公の機関だけでなく、周りの大人がしっかりと子供たちの話を聞くことも必要なことですね。

私自身も朝や帰りに生徒たちと校門で挨拶することをきっかけに、いろいろな話をしていきたいと考えています。

就業技術科副校長 山崎 裕之

### 【就業技術科の学校紹介パンフレットが出来上がりました。】

保護者の皆様の周りで、「職業学科のことについて知りたい。」「永福学園の就業技術科に入りたい。」という方がいらっしゃいましたら、担当副校長にお申し出ください。

### 【肢体不自由教育部門で医療的ケアを実施していただける職員を募集しています。】

就業技術科保護者の皆様にも、非常勤看護師等の募集チラシをお配りいたします。お心当たりのある方へお知らせください。御協力をお願いいたします。



# One School!! One Team!! 2023



## SOS の発信について

**【肢体不自由部門・就業技術科】**  
 「SOS の出し方に関する教育」とは、「子供が、現在起きている危機的状況又は今後起こり得る危機的状況に対応するために、適切な援助希求行動（身近にいる信頼できる大人にSOSを出す）ができるようにすること」、「身近にいる大人がそれを受け止め、支援ができるようにすること」を目的としています。両部門の一部実践例を御紹介いたします。

**就業技術科（学科集会にて実施）**  
 「自分を大切にしよう・相談できるようになろう ～ストレスへの対処～」  
 校内放送による校長講話を受けて下記を実施

**肢体不自由教育部門（社会にて実施予定）**  
 「SOS の発信に向けて決めておこう  
 ～場面・方法・相談する相手～」

**学校の取り組み 『子供の不安や悩みに気づき、心の健康問題に適切に対応する』**

① 気付く	② 共有する	③ 支える
一人一人の児童・生徒の状況を把握するとともに小さな変化も見逃さないようにするための取り組みを行う。	把握した児童・生徒の気になる様子を、教員、保護者と情報共有し支援体制を作る。	全ての児童・生徒に「身近にいる信頼できる大人に相談することの大切さ」を伝えるとともに、必要に応じて関連機関と連携するなど適切に対応する。

- 児童・生徒向けアンケートの実施
- 教職員向けチェックリストの活用
- 学級担任や養護教諭等を中心とした健康観察や健康相談の実施

- 管理職への報告
- 家庭への連絡、様子の確認
- ケースの情報共有

- SOS の出し方に関する教育
- 『夏休み前までに全校で実施』**
- 自己肯定感を高める取り組み
- 外部相談機関の連絡先の周知

★ 編集後記 ★  
 今号は、「SOS の出し方に関する教育」として、これまでの実践例と取り組み方について御覧いただきました。他にも、SOSなどを発信するツールとして、「永福 BOX」という投書箱を1階視聴覚室前、3階プール入り口に設置しています。今後は、上記の取り組み「③支える」の項目で「保護者、地域と連携した児童生徒の見守りを取り入れた実践」ができるように、学校運営連絡協議会などを通して強化していきます。  
 主幹教諭：矢下 将徳

**東京都立永福学園**  
 副校長 秋本 友美 山崎 裕之 安田 泉  
 主幹教諭 池田 佳信 池田 奈央子

〒168-0064  
 東京都杉並区永福1丁目7番28号  
 電話 03-3323-1380 FAX 03-3323-1381  
<http://www.eifuku-sh.metro.tokyo.jp/>